

第5章

広報

5.1 年報

CEReSが各年度において行った研究活動、共同利用、国際交流、教育活動、社会貢献、教育などさまざまな活動を記録し、自己点検評価の資料とするために、毎年度、年報を発行している。図5.1に年報第28巻（2022年度の活動報告）の表紙を示す。全体は202ページで、構成は下記のようにになっている。

- [1] プログラム研究活動
- [2] 共同利用研究
- [3] 研究成果の公表
- [4] 受賞・開発実績等
- [5] 国際交流
- [6] 教育活動
- [7] 社会教育活動・社会貢献
- [8] センターの行事
- [9] 主要研究設備
- [10] 当該年度の計算機データベース
 主要業務
- [11] 当該年度CEReSニュースレター
 ヘッドラインおよびニュースリリース
- [12] 組織・運営・人事・予算



図5.1 年報第28巻（2022年度の活動報告）表紙

1995年のCEReS発足年度からの年報pdfは、下記のウェブサイトで開催している。

<https://ceres.chiba-u.jp/category/annual/>

5.2 CEReSニュースレター

CEReSホームページ上で、毎月のセンターの活動をタイムリーに報告している。第1号は2005年12月号で、11月はじめの千葉大学祭期間におけるセンターの一般公開等について報じている（図5.2左）。同図右は、2024年7月号の1ページ目である。詳細は、下記のURLを参照。

<https://ceres.chiba-u.jp/category/newsletter/>

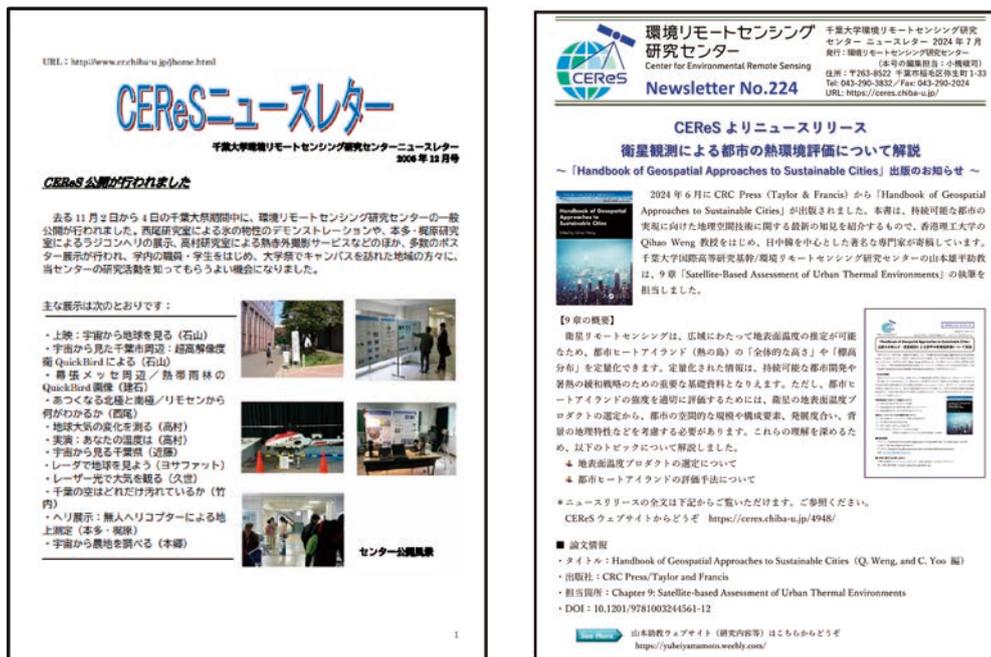


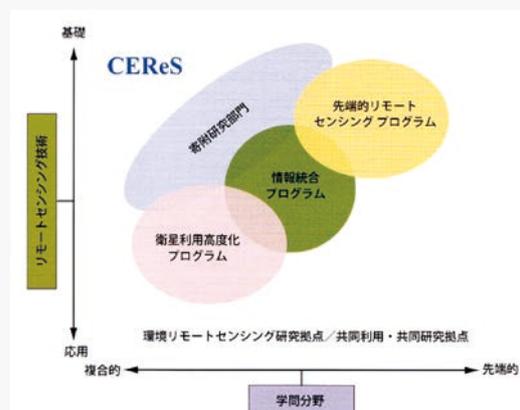
図5.2 CEReS ニュースレターの第1号 (2005年12月号) と第224号 (2024年7月号) の1ページ目

5.3 CEReSパンフレット

CEReSの研究教育等の活動を広く一般に紹介するため、新規の研究プログラムの策定等に合わせ、CEReSパンフレットを作成している。一例として、2010 (平成22) 年からの第2期中期目標・中期計画期間に向けて4つのプログラムを紹介するために作成したパンフレットの表紙 (図5.3左、右は最新の2024・2025年版) と、新プログラムの紹介を下記に引用しておく。

《環境リモートセンシング研究センターの研究プログラム》

平成22年4月からの共同利用・共同研究拠点の発足にともない、環境リモートセンシング研究センター (CEReS) では、より効率的なプロジェクト研究の推進をめざして新たに4つの研究プログラムを設けることと致しました。新プログラムは従来の6プロジェクトを包含し、発展させるものとなっており、今後6年間の第2期中期目標・中期計画期間において、この新プログラムに沿ってCEReSの研究活動を展開していくことになります。新プログラムは、先端的リモートセンシングプログラム、情報統合プログラム、衛星利用高度化プログラム、および寄附研究部門プログラムの4つから構成されており、これらの関係は、「学問分野軸」を横軸に、「リモートセンシング技術」を縦軸にとりて表示すると、おおよそ右図のようにまとめることが可能です。



こうしたプログラムの展開を通じて、CEReSは環境リモートセンシング分野における共同利用・共同研究を推進し、リモートセンシングの「総合情報拠点」として、関連コミュニティおよび広く社会に貢献して参ります。



図5.3 (左) 2010年からの新プログラムを紹介したパンフレットの表紙と
(右) 2024・2025年版パンフレットの表紙 <https://ceres.chiba-u.jp/4893/>